

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果の分析について（小学校）

綾瀬市教育委員会

（1）調査について

令和4年度全国学力・学習状況調査が、小学校6年生と中学校3年生を対象として、令和4年4月19日に悉皆調査として実施され、国語及び算数、理科について「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」が一体的に出題されました。

この調査結果を本市の児童・生徒の学力・学習の状況を把握する資料の一つとし、今後はこの分析をもとに、指導の改善を図り、学力向上につなげてまいります。

（2）教科に関する調査の平均正答率

小学校	国語	算数	理科
綾瀬市	58	56	57
全国（公立）	65.6	63.2	63.3

（3）本市の強みと弱み

【強み】学習に対する関心・意欲

○質問紙調査からは、理科の学習を「好き」と回答している児童、国語・算数・理科の学習を「大切である」と回答している児童が、いずれも8割を超えていました。

【弱み】書く（記述する）こと

●全ての教科に関する調査について、記述式で解答する問題が全国平均正答率を下回る傾向があり、無回答率が全国平均を上回る傾向がありました。



児童の多くは学ぶことの大切さを感じているよ！

（4）確かな学力の向上に向けて

☆綾瀬市型小中一貫教育に取り組み、9年間を見通した系統的な学びを実践しており、確かな学力の向上を図るために、「授業での振り返り」と「家庭学習の習慣化」を推進しています。

☆「ICT支援員」の配置によりタブレット端末を効果的に活用した授業改善に努めるとともに、「学習支援者」の配置により配慮の必要な児童への学習支援を行います。

☆少人数学級や少人数指導の実施など、きめ細かな指導体制を進めます。

☆読書の充実を図るために、1人1冊配本事業や学校司書の配置、学校図書館の充実等の読書環境の整備に努めます。

☆「あやせゼロの日運動」「あやせ学びづくり運動」「あやせ夜間ゼロ運動～ケータイ・スマホ・ゲーム機等の夜間ゼロ運動～」を「あやせコミュニティ・スクール」等を通して推進し、家庭・地域との連携を深めていきます。

思いやりと社会を生き抜く力を育む綾瀬の教育



展開中

綾瀬市型小中一貫教育

あやせコミュニティ・スクール

綾瀬市教育委員会

【国語に関する調査結果の分析】 平均正答率 58%



国語問題



国語正答例

【良好であるところ】

- 話し言葉と書き言葉との違いを理解すること 【言葉の特徴や使い方に関する事項】問題番号1一
- 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えること 【話すこと・聞くこと】問題番号1三
- 漢字の仮名の大きさ、配列に注意して書くこと 【我が国の言語文化に関する事項】問題番号3四

【課題であるところ】

- 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること 【話すこと・聞くこと】問題番号1四
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付けること 【書くこと】問題番号3二
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと 【言葉の特徴や使い方に関する事項】問題番号3三イ

【算数に関する調査結果の分析】 平均正答率 56%



算数問題



算数正答例

【良好であるところ】

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすること 【数と計算】問題番号1(1)
- 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解していること 【図形】問題番号4(2)

【課題であるところ】

- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できること 【数と計算】問題番号1(3)
- 示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解していること 【変化と関係】問題番号2(3)
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できること 【変化と関係】問題番号2(4)
- 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できること 【図形】問題番号4(1)



【良好であるところ】

- 問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができること 【B 生命】問題番号1(1)
- 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができること 【B 生命】問題番号1(4)
- 観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができること 【B 地球】問題番号4(1)

【課題であるところ】

- 自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること 【A 粒子】問題番号2(4)
- 日光は直進することを理解していること 【A エネルギー】問題番号3(1)
- 実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できること 【A エネルギー】問題番号3(4)
- 観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができること 【B 地球】問題番号4(3)

【児童質問紙調査の結果の分析】



【良好であるところ】

(1) 主に学校に関して

- 国語や算数の学習は将来、社会に出たときに役に立つと思っていること
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していること
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいること
- 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいること
- 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思っていること

(2) 主に家庭に関して

- 朝食を毎日食べること

(3) その他に関して

- 将来の夢や目標を持っていること
- 人の役に立ちたいと思っていること

【課題であるところ】

(1) 主に学校に関して

- 今回の学習調査で国語・算数・理科ともに解答を文章で書く問題について、書く努力をしなかったり、途中で諦めたりしたこと
- 学習したことは役立つと思うが、普段の生活の中で学んだことを結び付けようとしていないこと

(2) 主に家庭に関して

- 平日の学校の授業以外での学習時間が短いこと
- 自分で計画を立てて家庭学習をすること

ご家庭と協力したいこと！

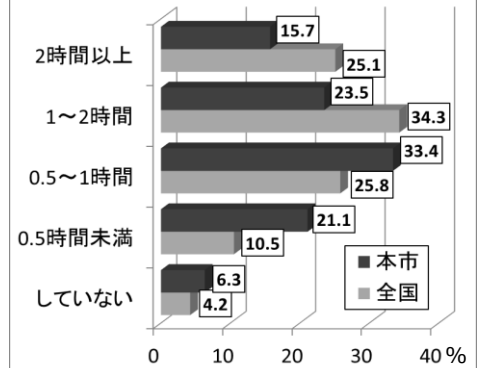
家庭学習の習慣化



グラフは平日の家庭学習時間を表しているよ！

家庭学習の習慣化を目指していますが、全国平均と比べると、家庭学習の時間が少ないことがうかがえます。

帰宅後の家庭での時間の使い方を、改めて見直してみることも大切です。お子さまが自分で学習の計画を立て、自主的に学習に取り組めるよう、学校で取り組んでまいります。ご家庭でも引き続き温かい言葉かけや励ましをお願いいたします。



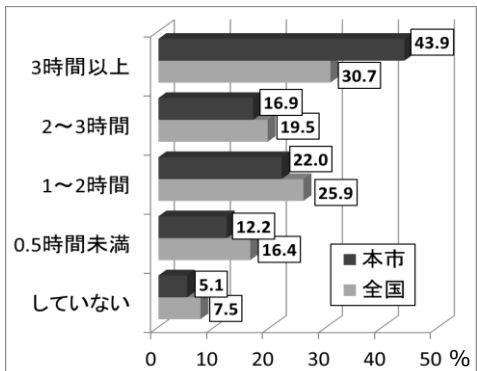
ゲーム等の時間の見直し



グラフは平日のゲームの時間を表しているよ！

平日のゲームの時間が3時間以上の割合が4割を超えており、またスマートフォン等でSNSの利用や動画視聴の時間も全国平均と比べても非常に高いことがうかがえます。

上記の家庭学習の習慣化と関連しますが、時間の使い方を改めて見直し、学校からの宿題以外の学習に取り組んでみたり、好きな本を選んで読書をしてみたりする時間が作れるようにご協力をお願いいたします。



学びの充実・改善のポイント



参考にしましょう！

児童質問紙調査クロス集計の結果（※教科に関する調査と質問紙調査の相関関係）からは、次に挙げる項目ごとに記載している児童については、そうでない児童と比較して、**教科の平均正答率が高い**という結果が出ていますので、参考にしてください。

- 【学習への取組】
 - ☞ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげていると思う児童 **(振り返りをしている)**
 - ☞ 自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う児童 **(計画を立てて学習している)**
 - ☞ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う児童
- 【家庭学習】
 - ☞ 学校の授業時間以外に、勉強している時間が長い児童 **(家庭学習をしている)**
- 【読書】
 - ☞ 読書が好きな児童
- 【生活習慣】
 - ☞ 普段、テレビゲーム等をする時間が短い児童
 - ☞ 朝食を毎日食べている児童
- 【自尊意識】
 - ☞ 自分には、よいところがあると思っている児童
- 【思考】
 - ☞ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思っている児童